

令和 4 年度の実施状況・課題と令和 5 年度の対応

1 学卒者向け職業訓練

新規学卒者を中心に概ね 30 歳以下の者を対象に、1 から 2 年の期間で基礎的スキル及び知識を習得し、地域の産業人材を養成する職業訓練をテクノスクール 4 校で実施する。

精密機械加工、木造建築など、ものづくり分野の訓練コースを実施。

● 令和 4 年度の実施状況（現状・課題）

- 令和 4 年度入校者の入校率は過去 2 年に比べ高くなっており、これは、新型コロナウイルス感染症の影響により、県内での就職や進学希望が高まったことに加え、令和 2 年度から高校 2 年生に対する広報活動を積極的に行うなど、募集活動の工夫による効果が考えられる。
- 就職状況については、例年どおり、県内企業への就職率が高くなっている。
- 特別な配慮が必要な訓練生や、精神的な悩みを持つ訓練生が入校している現状を踏まえ、スクールカウンセラーとの連携や研修等による指導員の対応力の向上を図った。今後も引き続き訓練生一人一人に合った職業訓練を実施する必要がある。

● 令和 5 年度の対応【入校定員※180 人（前年度比+5 人）】

- 高等学校や中学校への広報活動による新規学卒者の確保だけでなく、ハローワーク等への広報活動を強化し新規学卒者以外の訓練生を確保する。
- 特別な配慮が必要な訓練生等に組織的に対応するため「ケース会議」を実施し、個人情報を除いて全校で情報共有するとともにノウハウを蓄積することで、訓練生一人一人に合わせた指導の向上に努める。
- 魚沼テクノスクールにおいて、木造建築科（学卒者向け）とエクステリア左官科（離職者向け）を統合し、新たに建築業に関する複合的なスキルを習得する「建築施工科」を設置

※ 入校定員には前年度に開講し、当該年度に修了する訓練コースの定員は含まない。以下同じ。

(1) 令和 5 年 3 月修了コースの実施状況（令和 5 年 1 月末現在・人）

分野	期間	R4 年度				内定率
		入校定員	在籍者	内定者	うち 県外	
ものづくり	2 年	130	71	68	4	95.8%
建築・建設系	2 年	15	10	7	0	70.0%
その他（電気系）	1 年または 2 年	35	22	16	0	72.7%
合 計		180	103	91	4	88.3%

(2) 令和 5 年度の入校状況 (令和 5 年 2 月末現在・人)

入校月	募集定員	応募者数	入校者数	入校率
R3.4	180人	119人	110人	61.1%
R4.4	175人	143人	131人	74.9%
R5.4	180人	85人	76人	42.2%

R5.4 は入校見込み者数で追加募集中。

(3) 令和 5 年度計画

- ・ 入校定員 180 人 (前年度比 + 5 人)
- ・ 建築施工科 (定員 20 人 2 年制) の設置により 5 人増。
- ・ 実施コース及び入校選考状況は下表のとおり。

(令和 5 年 2 月末現在・人)

訓練区分	校	訓練科	入校定員	令和 5 年度生								令和 4 年度生	
				応募者数	前年度比	合格者数	前年度比	入校予定者数	未充足者数	定員充足率	オープンキャンパス参加者	応募者数	入校者数
学卒者訓練	新潟	精密機械加工科	20	6	△ 6	6	△ 6	6	14	30.0%	11	12	12
		電気システム科	20	15	7	12	5	12	8	60.0%	23	8	7
	上越	自動車整備科	25	18	△ 15	17	△ 7	17	8	68.0%	46	33	24
		メカトロニクス科	20	14	1	12	△ 3	12	8	60.0%	15	13	15
	三条	メカトロニクス科	20	8	△ 5	6	△ 7	6	14	30.0%	14	13	13
		工業デザイン科	20	5	△ 15	5	△ 12	5	15	25.0%	7	20	17
		生産システム科	20	7	△ 6	6	△ 6	6	14	30.0%	8	13	12
	魚沼	電気施設科	15	4	△ 12	4	△ 12	4	11	26.7%	4	16	16
		建築施工科	20	8	△ 7	8	△ 7	8	12	40.0%	11	15	15
		合計		180	85	△ 58	76	△ 55	76	104	42.2%	139	143

訓練区分	分野	入校定員	令和 5 年度生								令和 4 年度生		
			応募者数	前年度比	合格者数	前年度比	入校予定者数	未充足者数	定員充足率	オープンキャンパス参加者	応募者数	入校者数	
学卒者訓練	ものづくり系	125	58	△ 46	52	△ 41	52	73	41.6%	101	104	93	
	建築・建設系	20	8	△ 7	8	△ 7	8	12	40.0%	11	15	15	
	その他 (電気系)	35	19	△ 5	16	△ 7	16	19	45.7%	27	24	23	
		合計		180	85	△ 58	76	△ 55	76	104	42.2%	139	143

2 離職者向け職業訓練【一般離職者向け】

離職者を対象に、雇用のミスマッチの提言や個々の能力を高め、円滑な再就職を支援する職業訓練を、県立テクノスクール施設内及び民間教育機関への委託により実施する。

(1) 施設内訓練

県立テクノスクールの施設内において、地域産業の人材ニーズを踏まえ、主に、ものづくり分野の職業訓練を実施。

- **令和4年度の実施状況（現状・課題）**
 - ・ 定員充足率が低く、受講者の確保が課題となっている。

- **令和5年度の対応【入校定員 205 人（前年度比▲20 人）】**
 - ・ 個別相談を含む説明会をテクノスクールで開催し、実際に訓練の様子を見学してもらうことに加え、訓練修了後の就職状況など訓練を受講することによるメリットを説明することで、受講者の確保を図る。

ア 令和4年度実施状況

（令和5年1月末現在・人）

分野	R4 入校定員	入校	修了 (見込)	修了 3か月後 就職者		就職率	R5 入校定員	前年比
				うち修了3か月 経過コース	うち 県外			
事務系	15	14	(13)	—	—	—	15	0
ものづくり系	145	47	29	16	14	87.5%	135	▲ 10
建築・建設系	25	21	(20)	—	—	—	15	▲ 10
サービス系（ビル設備）	30	23	12	12	7	58.3%	30	0
その他（個人開業）	10	4	4	—	—	—	10	0
合 計	225	109	78	28	21	75.0%	205	▲ 20

イ 令和5年度計画

- ・ 入校定員 205 人（前年度比▲20 人）
- ・ 上越テクノスクール溶接科定員 10 人減。（R4・30 人 → R5・20 人）
- ・ 魚沼テクノスクールにおいて、エクステリア左官科（離職者向け）を木造建築科（学卒者向け）と統合し、新たに建築・建設系の学卒者向け「建築施工科」を設置したことから、定員 10 人減。

(2) 委託訓練

民間教育訓練機関を活用し、事務、デジタル、介護分野などの雇用失業情勢に応じて機動的・効果的に職業訓練の機会を提供することにより再就職を支援。

● 令和 4 年度の実施状況（現状・課題）

- ・ 求人ニーズを踏まえ訓練を設定するが、受講ニーズが乏しく受講者数が低調となるコースがある。
- ・ デジタル化の進展に対応するため、デジタル系訓練コースの拡充が求められるが、委託先の確保が難しい。
- ・ 建築・建設系コースについては、テクノスクール 4 校において各校入校定員 10 人として計画したが、委託先が確保できず受講者募集に至っていない。

● 令和 5 年度の対応【入校定員 2,580 人（前年度同数）】

- ・ 受講者確保に向け、ハローワークにおける職業訓練説明会やテクノスクールにおいても定期的に訓練説明会を開催し、職業訓練の周知を図る。
- ・ デジタル系訓練コースについては、関係機関や県の他の D X の推進に係る事業と連携を図りながら、企業における求人ニーズに応じた訓練コースの設定を進めていくとともに、委託先の確保に取り組む。
- ・ 特に建築・建設系コースについては全コース中止になっていることから、委託先と受講生の確保に向け、コースの内容を再検討や周知・募集活動のさらなる工夫を行う。

ア 令和 4 年度実施状況

(令和 5 年 1 月末現在)

離職者訓練	入校定員	募集定員	入校者数	うち女性	入校率	修了者数	就職者数	就職率
事務系	1,340人	1,260人	929人	763 (82.1%)	73.7%	579人	287人	49.6%
介護系	580人	261人	137人	86 (62.8%)	52.5%	100人	49人	49.0%
デジタル系	375人	158人	79人	38 (48.1%)	50.0%	48人	15人	31.3%
建築・建設系	45人	5人	0人	0 (0.0%)	0.0%	0人	0人	0.0%
サービス系	66人	46人	34人	26 (76.5%)	73.9%	0人	0人	0.0%
その他	174人	0人	0人	0 (0.0%)	0.0%	0人	0人	0.0%
合計	2,580人	1,730人	1,179人	913人 (77.4%)	68.2%	727人	351人	48.3%

イ 令和 5 年度計画

- ・ 入校定員 2,580 人（前年度同数）
- ・ 令和 4 年度中において、幅広い業種で必要とされるデジタル系訓練コースの定員を 150 人拡充。令和 5 年度においても、引き続きデジタル系に力を入れることとし、入校定員 2,580 人で実施。
- ・ 受講者がライフスタイルに合わせ受講できるよう、新たに e ラーニングコースを設定。

3 離職者向け職業訓練【若年求職者向け】

県立テクノスクール施設内及び民間教育機関への委託により、就職氷河期世代を含む若年求職者（概ね 55 歳未満の離職者、フリーター、不安定労働者等）を対象に安定雇用を図るため、企業実習を組み合わせた訓練（日本版デュアルシステム訓練（以下 DS 訓練））を通して、実践的な技能を身につける職業訓練等を実施する。

● 令和 4 年度の実施状況（現状・課題）

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により、企業実習の受け入れ先の確保が困難となっているため開拓が必要。
- ・ Web 系訓練コースは受講ニーズが高く、応募倍率の平均は 1 倍となり最大で 1.4 倍となったコースもあった。

● 令和 5 年度の対応【入校定員 350 人（前年度同数）】

- ・ 企業実習の受入先を開拓するため、あらゆる機会を捉えて DS 訓練の広報を行っていくとともに、オンラインでの実習を取り入れる。
- ・ 若年求職者の訓練ニーズが高く、あらゆる分野でデジタル化が進展することに対応できるよう Web 系に限らずデジタル分野の訓練コースを拡充。

(1) 令和 4 年度実施状況

（令和 5 年 1 月末現在）

開講年度	区分	入校定員	募集定員	入校者数	入校率	修了者数	就職者数	就職率		
								うち常用	うち常用	
R4	施設内	50人	35人	19人	54.3%	4人	0人	-	-	
	委託訓練	300人	191人	158人	82.7%	100人	43人	26人	43.0%	60.5%
	合計	350人	226人	177人	78.3%	104人	43人	26人	41.3%	60.5%
R3	施設内 (2年間訓練の2年生)	20人	20人	13人	65.0%	受講中	-	-	-	-

(2) 令和 5 年度計画

- ・ 入校定員 350 人（前年度同数）
- ・ 若年求職者のニーズが高い Web 系のコースや、情報化社会に対応する人材育成を育成するため、プログラマー養成科などのデジタル系コースを設定する。

区分	主なコース	入校定員
施設内	自動車整備科、電気設備コース	50人
委託訓練	Web クリエーター科、プログラマー養成科、介護員養成科など	300人
合計		350人

4 障害者向け職業訓練

県立新潟テクノスクールの施設内及び民間教育機関への委託等により、障害者の特性に応じた職業訓練を実施するとともに、障害のある訓練生一人一人に合わせた支援を強化し、障害者の雇用を促進する。

● 令和4年度の実施状況（現状・課題）

- 企業側の訓練ニーズは高いが、訓練受講希望者が少なく訓練が成立しなかったコースが見受けられた。
- 複数名が同時に受講する「集合訓練」では、訓練生に合わせた個別の対応が必要であり、就職に苦慮している。

● 令和5年度の対応【入校定員 180 人（前年度同数）】

- 個別に事業所現場で行う「個別訓練」は就職率が高いことから（88.4% R3年度実績）、採用意欲の高い企業や受講者のニーズに即した企業を中心に開拓し、開講コース数を増加させる。
- 訓練開始前における訓練方針の設定から訓練修了後の就職支援まで、専門的・総合的な支援を行うため、障害者の職業能力開発や職業的自立に関する支援等の経験がある「障害者職業訓練コーチ（1名）」を配置する。
- ハローワークや障害者就業・生活支援センター等から、一般就労を目指す障害者の企業や職種のニーズを収集し、委託先の開拓及び受講希望者を確保につなげる。
- 国の事業「精神障害者職業訓練コーディネート事業」を活用して受講者と企業のマッチングを推進し、個別訓練の拡充を図る。

(1) 令和4年度実施状況

（令和5年1月末現在・人）

区分	訓練形態	訓練名称	対象者	入校定員	募集定員	応募者数	入校者数	中退者数	修了者数	就職者数	就職率
テクノ	集合訓練	総合実務科	求職障害者	20	20	8	5	1	-	-	-
委託	集合訓練	デュアル訓練	求職障害者	60	-	-	-	-	-	-	-
		知識・技能習得訓練	求職障害者		30	11	10	1	6	1	16.7%
			特別支援学校在校生		2	0	0	-	-	-	-
	個別訓練	実践能力習得訓練	特別支援学校在校生	20	1	1	1	-	-	-	-
	在宅訓練	eラーニング	求職障害者	75	26	26	25	1	23	17	73.9%
合 計				180	83	50	45	3	32	18	56.3%

(2) 令和5年度計画

- 入校定員 180 人（内訳も含め前年度同数）

5 在職者向け職業訓練

在職者を対象に、職業に必要な知識・技能の追加取得や最新技術の習得など地域の産業界が必要とする労働者の幅広い職業能力の開発と向上を図る訓練を、テクノスクールが計画し広く受講者を募集する「レディメイドコース」の他、企業の要望に応じて従業員のために個別に設定する「オーダーメイドコース」により実施する。

受講者のスキルレベルに応じて、段階的かつ体系的にレベルアップできるようコース設定を行う。

● 令和4年度の実施状況（現状・課題）

- 新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着いてきたことで、ものづくり分野や情報分野を中心に受講者数が増加傾向となっている。

● 令和5年度の対応【入校定員 2,440 人（前年度比+290 人）】

- 国の事業「地域活性化雇用創造プロジェクト」を活用し、デジタル化に対応するために必要なIT技術に関連するコースを設定する。
- オンライン及びeラーニングによる、受講場所にとらわれない新しい訓練のスタイルを推進し、企業が従業員を参加させやすいコースを設定する。
- 新入社員向けに、基礎的な知識・技能を習得するコースや、段階的に難易度を上げていくコースを設定する。
- 在職者が、資格取得など自身のスキルアップの目標から複数のコースを選択できるように、体系的にコースを設定する。
- 受講することによる効果（現場業務での活用事例など）がイメージしやすいコース名や専門用語を用いない広報を行うことで、受講率の向上を図る。

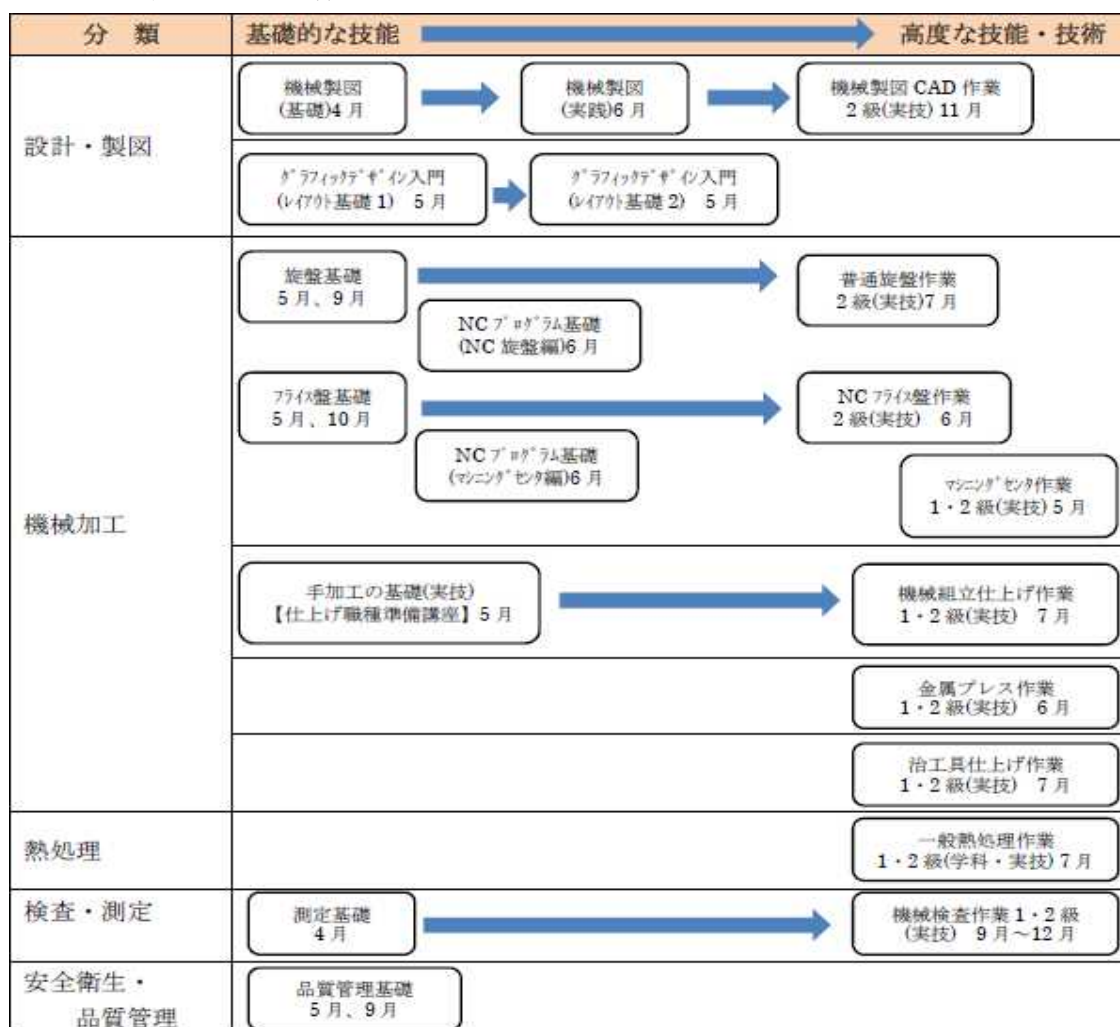
(1) 令和4年度実施状況

（令和5年1月末現在・人）

訓練内容	入校定員	受講者数		受講者数 合計
		レディメイド*	オーダーメイド*	
合 計	2,150	1,132	273	1,405
ものづくり系	2,150	330	69	399
情報系		275	0	275
電気系		179	0	179
自動車系		181	17	198
建築系		35	0	35
建設・配管系		38	0	38
溶接系		30	71	101
事務系		0	0	0
介護系		0	0	0
その他		64	116	180

○ 段階的・体系的なコース設定

＜機械系分野の段階的・体系的コース展開＞



(2) 令和5年度計画

- ・ 入校定員 2,440 人（前年度比+290 人）
- ・ デジタル系訓練コース 790 人（前年度比+140 人）

(人)

校	R 4				R 5						
	通常訓練	ITスキルアップコース	地プロ	通常訓練	ITスキルアップコース	地プロ			集合 (指導員が実施)		
						e-ラーニング	委託				
							オンライン	集合			
新潟	762	562	200	775	640		15	45	75		
上越	424	314	110	470	350		15	45	60		
三条	596	456	140	600	480		15	45	60		
魚沼	218	168	50	255	180		15	15	45		
共通	150		150	340	180	160					
合計	2,150	1,500	500	2,440	1,650	180	160	60	150	240	

6 技能振興

県民に技能の重要性や必要性について理解を深めてもらうことが重要であることから、普及啓発活動や技能者の社会的評価・技能水準の向上を図るため、技能振興施策を実施する。

- **令和4年度の実施状況（現状・課題）**
 - ・ 新型コロナウイルス感染拡大の影響による入国制限を受け、外国人受検者数の伸びが鈍化している。
 - ・ 新型コロナウイルス感染拡大の影響による技能啓発の取組縮小。
- **令和5年度の対応**
 - ・ 技能検定の円滑な実施（昨年度から検定科目増）
 - ・ 技能啓発の取組（職業能力開発関係表彰、にいがたの名工派遣、啓発イベント開催）の実施

(1) 技能検定

技能検定は、職業能力開発促進法第44条の規定に基づき、実技試験及び学科試験を厚生労働大臣が実施する。その際の実施は法第46条により、厚生労働大臣、県知事、中央職業能力開発協会及び都道府県職業能力開発協会の間で分担している。

毎年度の技能検定実施計画は厚生労働大臣が定め、中央協会が作成した試験問題、試験実施要領等を用いて県知事及び県協会が分担し、実施している。

ア 令和4年度技能検定実施実績

区 分		令和4 4-9月	令和3 通年	令和3 4-9月	4-9月 同期比
一般向け	受検者数	1,434	3,383	1,659	86.4%
	合格者数	751	1,830	926	81.1%
外国人向け	受検者数	554	1,433	861	64.3%
	合格者数	217	728	442	49.1%
合計	受検者数	1,988	4,816	2,520	78.9%
	合格者数	968	2,558	1,368	70.8%

※令和4年後期は数値集計中につき記載しない。

イ 令和5年度の計画

○ 前期試験

等級	作業数 (昨年度比)
特級	-
1級・2級	39職種68作業 (+1職種+5作業)
3級	13職種15作業 (+1職種+1作業)
単一等級	1職種2作業

○外国人向け検定

等級	作業数
基礎級	47職種63作業
随時3級	47職種63作業
随時2級	36職種44作業 (+6職種+7作業)

(2) 技能振興に関する取組

ア 令和 4 年度実績

○ 新潟県職業能力開発関係表彰式

職業能力の開発・向上の促進及び魅力ある技能社会の形成を目指し、県民一般の理解を高めるため毎年開催している。大会では、卓越した技能者の表彰（知事表彰）、優良事業所、団体及び功労者の表彰を行っている。

- ・ 開催日：令和 4 年 12 月 2 日（金）新潟市民プラザ
- ・ 知事表彰、新潟県職業能力開発協会表彰を実施

<知事表彰の内容>

- ・ 卓越した技能者の表彰（「にいがたの名工」） 4 名
- ・ 認定職業訓練・技能検定関係功労者表彰 技能検定功労者 4 名

○ 各種競技大会への参加

- ・ 第 17 回若年者ものづくり競技大会（令和 4 年 7 月 27 日（水）～28 日（木））
新潟県参加選手：5 職種 8 人（成績：2 職種 3 人入賞）
- ・ 第 60 回技能五輪全国大会（令和 4 年 11 月 4 日（金）～7 日（月））
新潟県参加選手：8 職種 20 人（成績：3 職種 3 人入賞）
- ・ 第 42 回全国障害者技能競技大会（令和 4 年 11 月 4 日（金）～7 日（月））
新潟県参加選手：6 種目 6 人（成績：2 職種 2 人入賞）
- ・ 技能グランプリ
令和 4 年度は大会開催なし

イ 令和 5 年度計画

- ・ 新潟県職業能力開発促進大会の実施
- ・ 各種競技大会への参加に向けての支援